

くらき永田保育園便り

4月

先週末18名の子どもたちが保育園を卒園していきました。堂々とした姿で卒園証書を受け取り、大きな声で歌う卒園児たちの成長した姿に涙が止まりませんでした。この数年間はコロナ禍の中で、初めて経験する休園などもあり様々な制限の中での保育が続きましたが、子どもたちはそのような環境下でもしっかりと成長する姿を見せてくれることに希望を感じています。

そして、今月から、新しいお友達16名が新たに保育園の仲間入りです。くらき永田保育園は、これからも「大きなお家」として「子どもの最善利益」を常に考え保育にあたります。暗いニュースが多い世の中ですが保育園からはハッピーな情報をどんどん発信できるよう職員一同笑顔で頑張っていこうと思います。

令和5年度は・・・

くらき永田保育園の一年のスタートは参加率90%を誇る『保育計画説明会とクラス懇談会』からスタートする風習がありましたが、コロナ禍の3年間は、オンラインで職員からメッセージ動画を一方的に発信するしかできませんでした。今年度は4月15日（土）午前中に対面型の全体懇談会を開催します。保育園やクラスからの方針やお楽しみポイントをお伝えするだけでなく大人同士の交流も深めていきたいと思っています。

こどもまんなか社会の実現に向けて

2023年4月から「こども家庭庁」が発足し、それと季を同じくして「こども基本法」が施行されます。そこで、キーワードとしてあげられている「こどもまんなか」とはどのようなことなのでしょう。例えば、登園リュックに可愛いキーホルダーをジャラジャラつけてきたことが原因で友達同士でトラブルになるといったことは保育園という集団の場では日常茶飯事のように起こります。そんな時、「キーホルダーは持ち込まないでください」といったルールを作り解決する。そのように保育士の価値観やトラブルを無くすことだけを目的に大人がルールを作るのは「こどもまんなか」と言えるのでしょうか？ そこにこどもの気持ちは反映できるのでしょうか？

くらき永田保育園では、行事だけでなく、日常の生活場面においても子どもの参加・参画、そして、子どもの意見表明を大切にしてきました。これからも「こどもまんなか社会」の実現に向けて言葉で気持ちを表現できない乳児さんも含め、子どもの「想い」を伝えあうことを今まで以上にこだわって保育にあたりたいと思います。

遊言係より

今年度の遊言育係は『地域』に向けた活動を増やしていく予定です。3月末に親子で楽しむ玩具体験会を開催しましたが、そうした機会を通して保育園での遊びを保護者の皆さまにも楽しんでもらったり家庭でも楽しんでもほしいと思っています。

また、保育園に通っている家庭だけではなく、地域で休みの日に行く場所がないなどの悩みを抱えている家庭にも開放していこうと思っています。そうした活動を広げていくためにも、職員は玩具やわらべうた、遊びのスペシャリストとして学び、発信していこうと計画しているのでお楽しみに！

食育係

昨年度は「食べ物に関わる人との繋がりを大切にする」をテーマで食育活動を行ってきました。子どもたちの興味関心が食材だけではなく関わる人たちにも興味を持ってきています。そこで、今年度は、コロナ禍でできなかったクッキング活動を、関わりのある方たちとコラボしながら、行っていきたいと考えています。

また、乳児から幼児まで植育活動を通して、子どもたちの心が豊かになり、探求心、好奇心も育くんでもらえると嬉しいです。

木育係

今年の木育係は、子どもの『自然体験』を応援するための魅力ある園庭、2階テラスの環境づくりをしていきます。子ども達と一緒に、たくさんの体験を繰り返して「何だろう？」「不思議だな」「どうして？」と探究を広げていきたいと思っています。

昨年に続き今年も、みんなで『蚕』を育てて更なる不思議を見つけたり、自然の不思議さや野草遊び、生き物などから興味関心を深めます。そして、昨年初応募して「優良園賞」を頂いたソニー教育財団『科学する心を育てる』論文に今年もチャレンジします。

今月の行事

- 1日(土) 入園式
- 8日(土) 布団乾燥
- 15(土) 全体懇談会
- 20(木) 久保先生のわらべうた
- 29(土) 昭和の日